

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して



Smarky

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 Smarky

【サービス名称】

デジタル採点システムSmarky

デジタルレポートシステム

【サービスの支援項目】

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

Smarky

業界独自! 「数式」「英文」の自動採点に対応!

- AI採点
- 入試採点
- iPad採点
- Google連携

採点業務をスマートに!

先生の採点時間を $\frac{1}{3}$ に短縮!

紹介動画をYoutubeにて公開中です。 

2026年1月

1. サービスの概要、特徴

デジタル採点システム Smarky

テスト答案をデータ化しパソコン・タブレット上で採点・集計・分析を実行、テスト業務の省力化を実現します。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

テストの採点業務にかかる時間を大幅に削減、学校の先生方の働き方改革の実現に寄与いたします
類似サービスに比べ、圧倒的な使いやすさ・サポート体制を評価いただいています

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

同一設問の串刺し採点・得点、正答率などの自動集計・複数の教師による分散採点により
採点に関わる業務時間を約三分の一に短縮

(3) サービスの活用場面

学内の定期試験・小テスト・入学試験の採点処理

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

デジタル採点システム Smarky:年間30万円(税別)
デジタル採点システムSmarky(中高一貫校プラン):年間50万円(税別)
デジタル採点システムSmarky(入試・プレテストプラン):年間20万円(税別)
※学校単位での契約、1年間使い放題、使用制限なし
※すべてのプランで追加費用無し(初期費用・アカウントの追加費用は不要)

デジタルレポートシステム 紙運用が基本である生徒様へのレポート配布、採点、返却をデジタル化。

PC・タブレットで操作を完結させる事により、業務時間・経費の大幅削減を実現いたします。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

通信制高校にて必須となるレポート運用においてレポートの作成 → 配布 → 提出 → 採点 → 成績返却をデジタルで一元管理してフローの完全オンライン化×採点業務の効率化を実現するシステムです

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

生徒のレポート解答・提出を簡略化、教師のレポートに関する業務時間を約二分の一に短縮

(3) サービスの活用場面

生徒・教職員双方のレポートへの取り組み

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

生徒1名あたり年間2,000円(税別) ※追加費用無し(初期費用・教師アカウントの登録費用は不要)

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

導入前後の打合せ・操作説明会による導入サポート

まずは学校様が抱える課題や状況をヒアリングして、最適な導入提案を行います。無料トライアル前には、操作説明会を実施して、先生に採点システムのメリットや使い方を知ってもらい、学校への導入支援を行います。システム導入がゴールではなく、導入後に採点・集計時間が短縮できるまで支援いたします。

有人チャットサポートで疑問点をすぐに解消

採点システム・デジタルレポート内のチャットで質問をすると、担当者がリアルタイムで迅速に回答します。状況に応じて電話でのフォローも行います。初めてシステムを使う先生も安心してご利用いただけます。

デジタル採点システム・デジタルレポートシステムは、試験・レポートのデジタル化により採点業務で必須であったアナログな手作業から解放し、本分である指導・分析を行う時間の確保に寄与します。

試験の採点における教職員が抱える課題

- 1. 業務圧迫
 - ・授業準備や生徒指導の隙間で採点が完了せず、持ち帰り残業の主因となる
 - ・数百枚の紙の束を管理・運搬する労力と、紛失リスク
- 2. 心理的負担
 - ・集計ミスや入力ミスなど、人間の手作業ゆえのミスが避けられない。
 - ・記述式採点などで、疲労や連続性のなさから採点基準がブレる
- 3. 非効率
 - ・採点⇒集計⇒校務システムへの登録と、完了までに多くの工程を踏む必要がある
 - ・「観点別評価」の加えた場合より計算が複雑となる

サービスが果たす役割

- 1. 業務圧迫
 - ・串刺し採点・分担採点による効率化、採点スピードの劇的な向上
 - ・答案のデータ化により、紙の管理が不要に PCがあれば場所を選ばず採点が可能となる
- 2. 心理的負担
 - ・配点計算は全てシステムが自動で行い、足し算ミスを物理的にゼロにする
 - ・連続採点による採点基準の均一化、採点時間短縮による疲労の軽減
- 3. 非効率
 - ・採点が完了と同時に集計処理の完了、データ出力により外部システムとの連携も容易
 - ・「観点別評価」も同時集計、データ出力にも対応

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景

デジタル採点システム Smarky

導入校の課題: テストの採点に要する時間を短縮。生徒への指導など他業務に充てる時間を確保したい。



● **試験一覧画面(メイン画面)**
画面の左から右へStepごとに設定を進めるシンプル設計、初めてシステムに触れる人でも直観的に操作が可能です

⇒ **操作方法の習得が容易で導入のハードルをさげる**

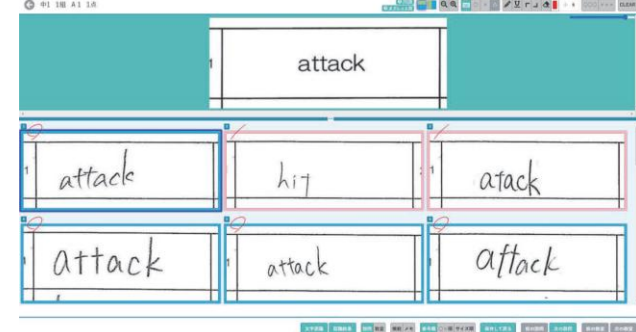
● **採点一覧画面**
生徒ごと、設問ごとの正誤内容を自動集計、採点と同時に得点・正答率などが計算されリストに反映されます

⇒ **採点後の集計の自動化から大幅な時間短縮**

● **採点画面**
同じ設問を串刺しにする事による採点基準の均一化、採点時間の大幅削減

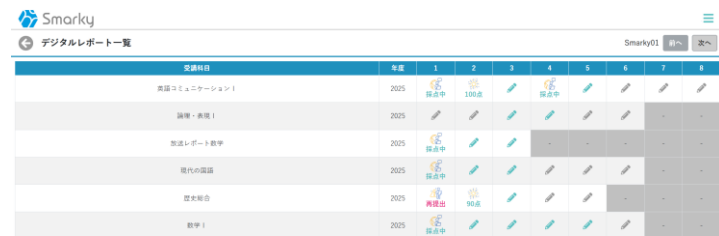
AI文字認識によって数式・英単語に対応した自動採点で採点をサポート

⇒ **採点の正確さと公平性を確保**



デジタルレポートシステム

導入校の課題: 生徒のレポート提出状況の確認・管理
採点時間の短縮、レポート印刷コストの削減



● **生徒マイページ**
受講対象のレポートの解答可否、提出状況、採点結果が一目で確認できるリスト形式
⇒ **生徒・教職員ともにレポートの状況が容易に確認可能**



● **生徒解答画面**
表示される解答用紙に対して、キーボード入力、手書き書き込みを直観的に行える構成
選択問題や画像の添付による解答にも対応
⇒ **PC・タブレットを利用した直接解答で解答済レポートの郵送・学校への持ち込みの手間を軽減**



● **教職員講評画面**
キーボード入力・手書きでの講評の反映が可能
点数ごとの自動講評の登録や担当者のスタンプを画像で配置する事も可能
⇒ **Smarkyのと同じ操作感の採点・集計機能に加え、PC・タブレットを用いた講評の入力を実現**

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

| | | | |
|--------|---|----------|----|
| 学校設置者数 | 3 | 学校等教育機関数 | 3校 |
|--------|---|----------|----|

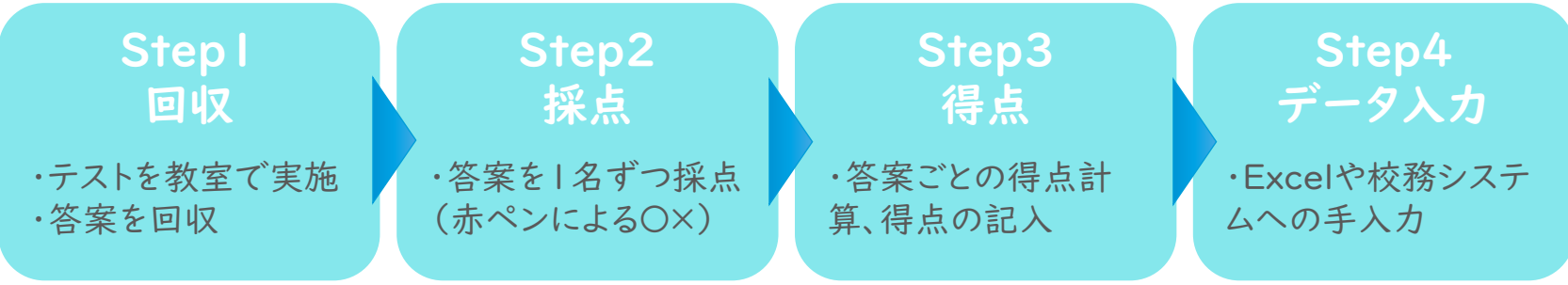
| | 学校設置者名 | 学校等教育機関名 | 都道府県 | 学年 | 実施内容 | 支援項目 |
|---|--------|----------|------|----|----------------------|--------------------------------------|
| 1 | 学校法人T | K高等学校 | 大阪府 | 3 | Smarmy入試・プレテストプランの導入 | 入学試験の採点時間の削減・効率化 |
| 2 | 学校法人H | H高等学校 | 福岡県 | 3 | Smarmy入試・プレテストプランの導入 | 入学試験の採点時間の削減・効率化 |
| 3 | 学校法人S | S高等学校 | 茨城県 | 3 | デジタルレポートの導入 | レポートの配布・解答・提出・採点・講評・返却をデジタル管理、効率化を図る |

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

本支援事業にて採点システムを活用いただいた教職員の方々へのアンケート調査
先生一人の採点・添削に関わる年間の平均時間 (調査数: 106名)

●従来の採点の流れ

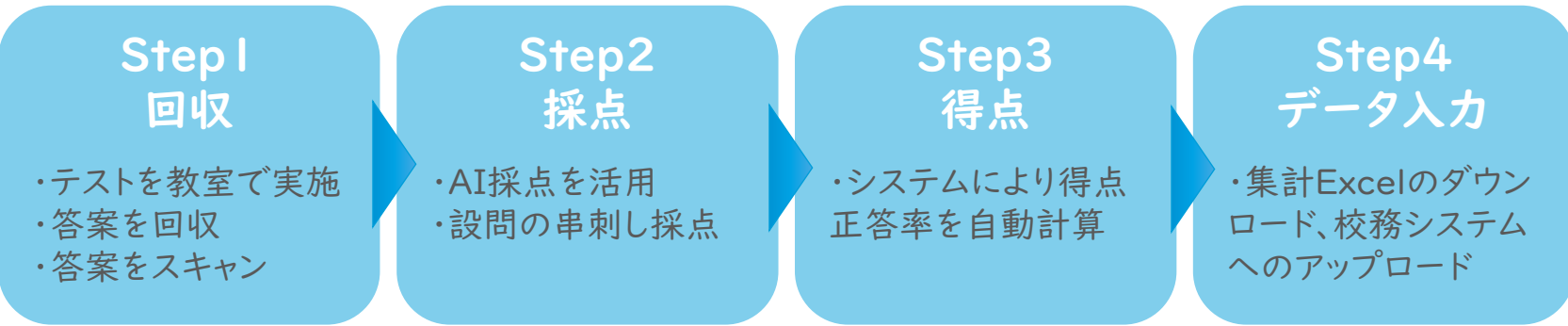


先生一人の採点・添削に関わる年間の平均時間

| | | |
|-------|-----|----|
| 定期テスト | 156 | 時間 |
| 入試 | 32 | 時間 |

採点に関わる業務時間が
約 1 / 3 に

●Smarky採点の流れ



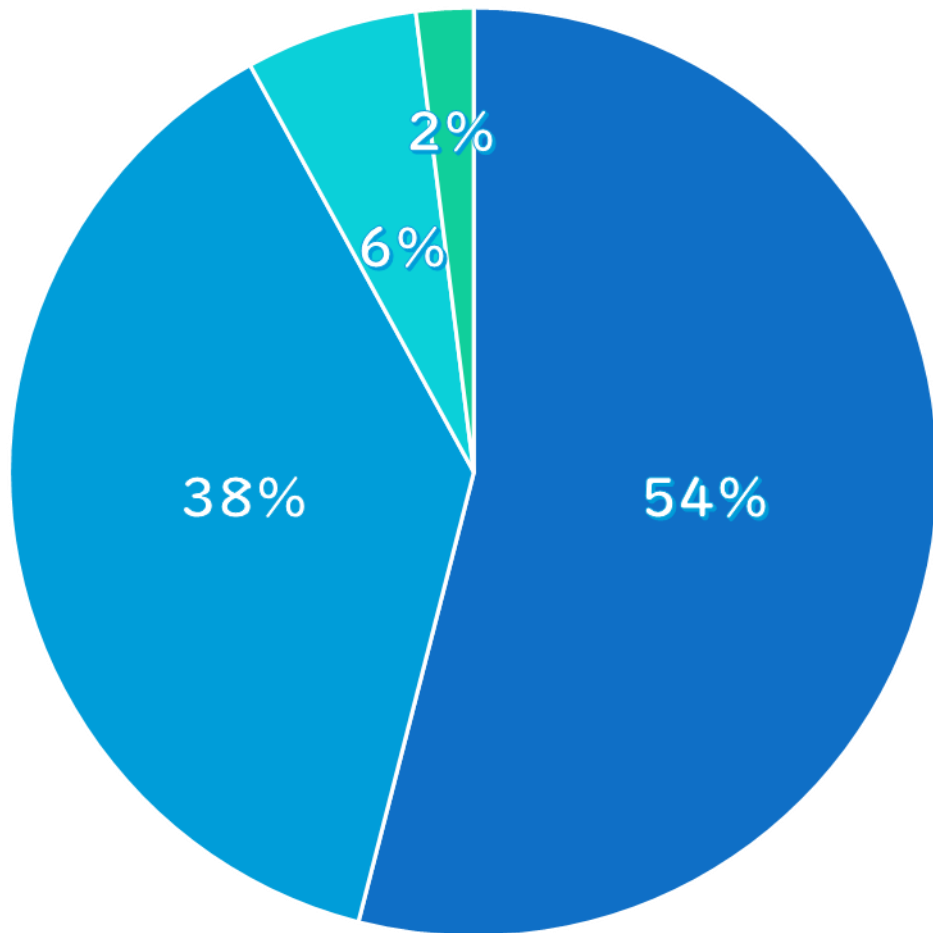
先生一人の採点・添削に関わる年間の平均時間

| | | |
|-------|----|----|
| 定期テスト | 54 | 時間 |
| 入試 | 12 | 時間 |

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

本支援事業にて採点システムを活用いただいた教職員の方々へのアンケート調査
システムの利用で業務改善効果を感じられたか（調査数：171名）



システムの利用者からの感想など

小問ごとのデータから個々の弱点が明確になるため、一人ひとりに合わせたきめ細やかな指導方針を立てる上でなくてはならないツールです。生徒の学力向上のため、今後も継続して活用したいと考えています。

自動採点機能が補助ツールとして素晴らしいです。実行後の確認を2度実行していますがそれでも採点時間がかかり短縮できています。

機能の説明リンクがそれぞれ必要な箇所ごとに配置されており、見やすく分かりやすい。疑問・質問をチャットでその場で解消してくれるので校内担当者の負担が少ない。

アンケートに協力いただいた方々のうち **9割以上** に **業務改善に効果があった** と回答をいただきました。

デジタル採点システム Smarky



管理職の先生の声

非常勤の先生も含め、教科を問わず半数以上の先生が日々の小テストや定期考査に活用しています。使用における疑問点やエラーが出た時には、チャットですぐに対応してもらえることも、ICTに不慣れな先生の精神的な負担を軽減してくれているのではないのでしょうか。また、使っていくうちに不要と感じる機能や教科に合った機能を追加・改善等、多数の要望が出てくるものですが、本校教員から出るそれらのリクエストにも、できる範囲で改善していただいている点も高く評価しています。



現場の先生の声

画面構成がシンプル、分かりやすいUIのため、システムの使用がに苦手な先生も取り組んでいます。また、他社とくらべAI自動採点の機能が一番使いやすかったです。タブレットでの採点に対応しているのもありがたく。ノートPCよりも更に手軽なので、ちょっとしたスキマ時間に採点を進めたりしています。定期的なアップデートが行われ、使いやすさが増していくこともとてもありがたいです。

デジタルレポートシステム



先生の声

導入後、先生方の業務は劇的に変化しました。採点にかかる時間は、紙で採点をしていた時代から比べると大幅に減少しました。それにより生徒と向き合う時間を多く作ることができるようになりました。また、生徒は管理者機能も直感的に操作が出来るため、操作に戸惑うことはありませんでした。今では本校の基幹システムの1つとなり、欠かすことのできない大切な存在です。



生徒の声

PCやタブレットでレポートの解答・提出ができるので、自分のタイミングで学習を進めることができるようになった気がします。提出も24時間好きなタイミングで行う事ができるのでとても便利です。採点後の答案の返却も紙のレポート比べてとても早いので、すぐに復習を行えるようになりました。再提出が必要な際もすぐに取り掛かれてとても便利です！

校内でサービスの詳細と導入によって改善する内容を周知いただき、承認を得る必要がある。

各申請を行う時期の学校側の状況に合わせ、サービスを説明できる資料の提供・説明会の開催など先回りをした対策を行ってスムーズな導入を促す。

直面した課題

■ 導入時の課題

サービスの内容・導入する事によって解決する事例を担当者へ説明し、導入に向けて校内での周知を行っていただく必要がある

■ 実施していく中での課題

各学校の担当者との折衝、試験やイベントの時期と重なる事で管理者からの承認をなかなか得る事ができない事例がある

■ 実施した結果、顕在化した課題

サービスの操作の習得度に教職員間で大きな差が発生する、校内担当者や習得度が高い人へ質問が集中してしまう可能性がある

解決するための改善策

⇒ 担当者へ支援サービスの概要と、システムを導入する事によるメリットをわかりやすく説明を行い、校内周知のための資料作成、説明会などの補助を行う

⇒ 学校ごとのイベント日程の把握、定期的な状況の確認と担当者の方が学内で説明を行う際の負担を軽減するための資料の提供を行う

⇒ 習得度の差は必要に応じた説明会の開催と有人チャットによる即時の操作方法のレクチャー、疑問点の解消にて学内の特定の方へ負担がかからないようにサポートを行う

| | |
|------|--|
| 社名 | 株式会社Smarky |
| 代表 | 島田 智弘 |
| 設立年月 | 2019年2月26日 |
| 本社 | 〒102-0083 東京都千代田区麴町6-2-6 PMO麴町3F |
| 資本金等 | 9,000(千円) |
| 売上高等 | 非公開 |
| 従業員数 | 3人 |
| 事業内容 | 私立学校向け採点システム 通信制高校向けデジタルレポートシステム 成績管理システムの企画・製造・販売 |

■お問い合わせ窓口

担当:洞 圭彦

電話:03-6265-6472

Mail:support@smarky.jp